

海棲哺乳類の話題相次ぐ！

2005年新年早々から、オットセイ、トド、シャチと海の哺乳類の話題が続きました。知床沿岸ではゴマフアザラシなどアザラシの仲間（アザラシ科）、オットセイやトドといったアシカの仲間（アシカ科）、さらにイシイルカなど小型のものからマッコウクジラのような大型の鯨類まで、バラエティに富んだ海の哺乳類を見ることができます（学芸員 増田 泰）。

・斜里港にオットセイ

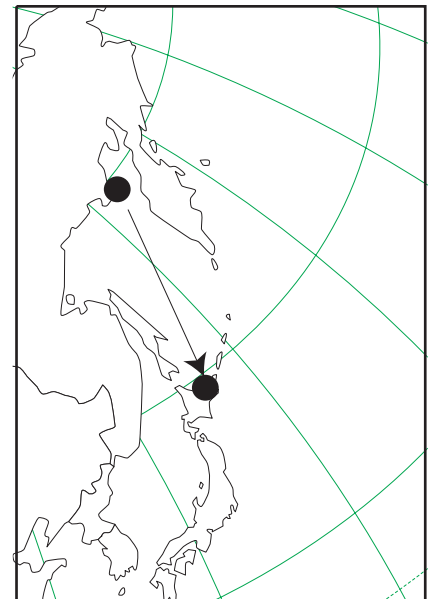
1月14日、斜里港の船揚げスロープにオットセイが姿をあらわしました。小型犬ぐらいの大きさで、今年生まれの子のようです。オットセイと言えば、昨年11月24日にも、知布泊港に成獣メスと思われるオットセイが姿を見せました。アシカ科のオットセイには三角形の耳たぶがあります。アザラシには耳たぶはありません。また脚のつき方なども両者では大きく違います。



・斜里川河口に標識番号の入ったトドが漂着

1月18日、斜里川河口に標識番号入りのトドが漂着しました。このトドはメス、体重44・で、体重から昨年夏生まれの0才と思われます。

標識番号は焼き印で、かなり痛々しい感じがします。研究者に連絡したところ、オホーツク海最北部ロシア領イアムスキー島（Yamsky Island）の繁殖場で標識された個体のようです。オホーツク海北部の島で生まれたこのトドは、どのような経路をたどって、オホーツク海最南端の斜里までやってきたのでしょうか？



標識されたイアムスキー島と斜里の位置関係

・羅臼町相泊港近くでシャチが流氷帯にとじこめられる

2月7日羅臼町でシャチの一群12頭が流氷帯に閉じこめられるという事件がありました。夕方現場に駆けつけた時には、シャチの多くが流氷の塊とテトラポットの間に挟まれ、波が打ち寄せるたびに氷にもみくちゃにされ手をつけられない状況でした。翌日1頭は自力で脱出しましたが、残りのシャチは命を失いました。1月28日にはウトロブユニ岬付近で流氷帯に沿って泳ぐ3頭のシャチがカメラマンに撮影されています。同じシャチかどうかは今のところ確認されていません。死亡したシャチは2月14～16日に羅臼町内で国立科学博物館を中心に全国の研究機関が集まり解剖検査されました。結果については後日また報告します。



斜里にも流氷が接岸し、寒さの厳しい日が続いています。皆さん風邪などひいてませんか？12月から始まった特別展も残すところあとわずか、いよいよ今月末で終了します。来月はロビー展や講演会を開催！お楽しみに・・・。

発行 斜里町立知床博物館協力会 2005.2.20
099-4113
北海道斜里郡斜里町本町49 斜里町立知床博物館内
TEL:01522-3-1256/FAX: 3-1257
<http://www5.ocn.ne.jp/~museumsp/>